

人権・同和問題啓発標語



きみがいる
だからわたしも
かがやける

～2025年度 宝同協入選作品～

ひらい人権文化
センターだより

一発 行一

宝塚市立ひらい人権文化センター

宝塚市平井6丁目3番38号

電話：88-2795

ファックス：88-2774

ひらいじんけん



令和8年度(2026年度)

ひらい解放文化祭

「解放文化祭」は、さまざまな人権課題に焦点をあて、差別・偏見からの『解放』を目指して開催しています。みなさまぜひ、お越しください。

11月6日(金) 9:00～21:00

7日(土)

11月7日(土) 9:00～18:30

6日(金)

◆中筋出前児童館

◆ひらいおはなし会

◆平井保育所和太鼓演奏ほか

◆人権・同和問題講演会

講師：富田 稔さん

演題：部落差別問題を「今」の課題として考える

～「それ、本当に“過去の問題”ですか」～

会場 ひらい人権文化センター

主催 ひらい解放文化祭実行委員会

他の人権文化センター文化祭のご案内

☆くらんど人権文化センター 10月22日(木)・23日(金)

☆まいたに人権文化センター 11月5日(木)・6日(金)

◆平井出前児童館

◆南ひばりガ丘ウインドシンフォニーによる演奏

◆わくわく学級生発表

演題：宮沢賢治作「どんぐりと山猫」

◆アンサンブル・サビーナによる子ども人権コンサート

◆絵てがみ教室 など

令和8年度

ひらい体験型人権学習会(箕面市立萱野中央人権文化センター)

7月24日(金)、小学生と中学生13名、保護者等10名、合計23名の参加者と学校の先生10名、センター職員等を含め総勢38名で、箕面市立萱野中央人権文化センターにおいて、一般社団法人和太鼓「絆」の皆さんによる、人権講演会、和太鼓演奏の鑑賞、和太鼓の演奏体験を行いました。

講演会では、同法人代表理事の谷本直也さんから、「和太鼓は、お祭り、お寺や神社でも重宝され、神様と人間をつなぐ楽器として、伝統芸能、伝統楽器として昔から親しまれている。

和太鼓には動物の皮が使われている。動物の皮を扱うということで、日本の中では、残念ながら、長い間差別をされてきた歴史があること、和太鼓職人だけでなく、食肉に関わる人々もいる。靴や服など色々なところに動物の皮が使われている。人間は動物の生命をいただいて生活しているにも関わらず、その元となる仕事をされている方々は、残酷だ、動物の生命を平気で奪うという批判、間違った偏見からずっと差別されてきた。

オリンピックは普通にテレビで放送されるが、パラリンピックはあまり放送されないことなど日本における障がい者差別のこと、外国人差別のこと、人種差別のこと。

子どもたちに差別のことを教えないのではなく、差別を知ることでは自分には差別をする人間にならないという気持ちを作ってあげてほしい。差別を正しく理解し、差別はダメなもの、これは差別だからやってはいけないという正しい判断ができる人になってほしい。そのため周りの大人は、少しでもお手伝いしてほしい。差別をなくしていく地域、地元、大人を作っていく活動に取り組んでほしい。

上から目線、相手を自分より下だと見下す考え方が差別を生むと覚えておいてほしい。困っている人がいたら、助けるという意識ではなく、一緒に何ができるのかを考えてほしい。和太鼓は差別に気づききっかけであると考えている。そのように考えて、今日の和太鼓の演奏を聴いてほしい」といったお話がありました。

講演後、とても迫力のある和太鼓演奏を聴かせていただくとともに、実際に和太鼓に触れ、自由にたたくことから始めて、簡単なリズム、少し難しいリズムで、みんなで気持ちを合わせて力強く和太鼓を演奏する体験を行いました。

参加者からは、「講演の内容も分かりやすく、身近なことで人権のことを知ることができてとてもよかった」「和太鼓の演奏を聞けて楽しかった」「和太鼓を演奏したのが楽しかった」「和太鼓の演奏が心に響きました」等の感想がありました。



第98号

ひらい人権文化センターだより

令和8年(2026年)9月30日発行(2)

学校教育課だより【人権わくわく学級の取り組み】

「みんな友だち、同じ仲間」「出来ることを考えて行動する」「自分も大切、友だちも大切」を目標に、人権意識を高めることをめざし、さまざまな体験活動を通して人権学習を行っています。

今年度の「ひらい人権わくわく学級」は、長尾小、長尾南小、長尾台小、丸橋小から9名と小中学校の9年間人権わくわく学級に参加してくれた高校生1名を合わせて10名が集まり、みんなで様々な体験をしながら人権について学んでいます。

これまでの活動の紹介

○6月19日(金)：開講式

はじめ、一人ずつ自己紹介をしました。

その後、アイスブレイクとして、じゃんけんゲームをしました。2人でじゃんけんをし、じゃんけんに勝つとエリアを1つ進むことができ、負けると1つ戻るというルールのじゃんけんゲームです。最終エリアでは、ピンポン玉を2mほど離れた所に置かれた箱に1発で入れるとゴールになりますが、みんな緊張して、なかなかピンポン玉が箱に入らず、ゴール出来ません。しかし、1番にゴール出来た子は、嬉しそうな表情が印象的でした。ゴールできなかった子は、「もう1回やりたい」と悔しい表情でした。

その後、自己紹介カードを書いて個人写真を撮ってから、人権わくわく学級のめあてと1年間の予定を確認しました。

○6月26日(金)：仲間づくり

ひょうご・宝塚シェアリングネイチャーの会から3名指導者をお招きし、みんなでゲームをしました。まず、言葉を使わずに誕生日順に並んでいくというゲーム「バースデーチェーン」です。最初はどやって並んでいくのか戸惑っていましたが、次第に身振り手振りでコミュニケーションを取って並ぶことができました。次に、「キャッチング・ザ・スティック」というゲームをしました。それぞれスティックを1本持って円形に並び、「トントンプッ」の掛け声に合わせて移動し、右側にある棒をキャッチするゲームです。みんなで気持ちを合わせて練習をし、最高で9回成功させることができました。最後に、2グループに分かれて、スティックを2本にして挑戦しました。2本になるとなかなか難しかったですが、練習をするとだんだんうまくできるようになりました。隣の人がとりやすいように考えて、スティックから手を離すということができるようになりました。

○7月3日(金)：人権映画鑑賞

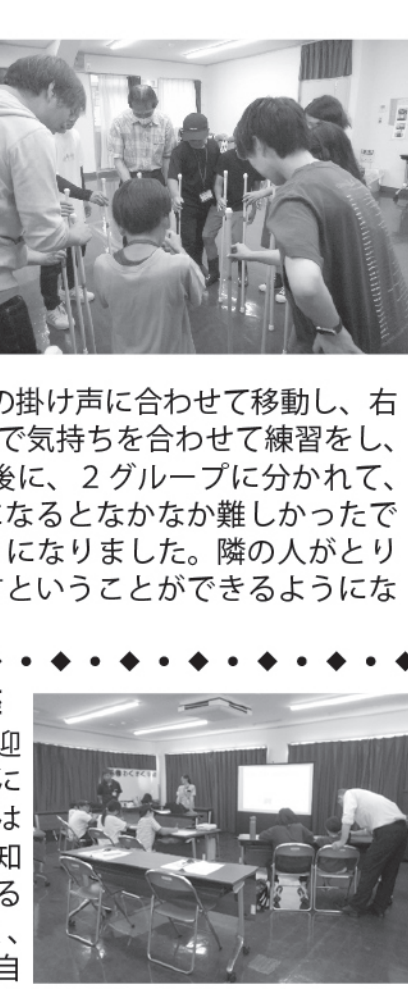
人権についての映画を2編見ました。

最初の映画「光射す空へ」では7月10日(金)に学習する認知症と部落差別問題、LGBTQ+について、2編目の映画「大切なひと」では、インターネット上で部落差別が描かれたものでした。

内容は少し難しかったですが、しっかりと鑑賞することができました。いろいろな差別問題について、「正しい知識を知って理解すること」が大切ということがわかりました。

○7月10日(金)：認知症サポーター養成講座

長尾地域包括支援センターからお2人講師をお迎えしました。はじめに高齢者に起こる脳の変化について学習し、次にDVDを見ながら認知症とはどのような病気を教えていただきました。認知症は、周りの人の接し方によって進行を遅らせることができる病気です。何でも手伝うのではなく、できないを手助けしながら、認知症の方にも自立していただけるように配慮することが大事だと教えていただきました。最後に今日の学習の感想を書いて、認知症サポーター養成講座の修了証として、缶バッジをいただきました。



平井保育所だより

わーくわーくひらいいっこ

～栽培活動を通して自然を感じ、食への興味関心を高める～

幼児クラスを中心に、園内のプランターやひらい人権文化センターの畑で野菜を栽培しています。今年度はじゃが芋・玉ねぎ・さつま芋・なす・ピーマン・枝豆を育てています。苗植えや水やり、雑草抜きなどお世話をすることで生長過程を知り「葉っぱいっぱいになってきた」「お花が咲いてるよ」「ここにもピーマンの赤ちゃんいた」などと、気づいたことを大人に知らせたり「お豆できてきたなあ!」と友達と嬉しそうに見たりしています。

自分たちで育てた野菜を収穫し、友達と一緒にクッキングをすることで、見る・聴く・嗅ぐ・触る・味わうといった五感を使い、普段はあまり野菜が得意でない子どもも、なすとピーマンのみそ炒めや蒸し枝豆をおいしく食べることができました。

栽培活動を通して食への興味関心を持ち、クッキングをして食べることで体を育み、おいしさを友達と共感することで心の豊かさに繋がっていきます。健康な体と心を基盤に、友達と一緒に様々な活動や体験ができる保育を提供していきたいと思っています。

皆さんの子育てを応援しています!

子育て支援事業 平井保育所

在宅の親子を対象に、親子でほっとでき、安心して遊べる場所になればと思い、地域子育て支援事業を実施しています。お気軽にお越しください。お待ちしております。

◎園庭開放

毎週月・水・木・金曜日 午前11時20分～12時20分

平井保育所 園庭

◎赤ちゃんルーム(0.1歳児対象 室内遊び)

毎週水曜日 午前10時45分～11時45分

平井保育所 プレイルーム

◎出前保育(0.1.2歳児対象 室内遊び)

◎ひよこルーム(0.1歳児対象 室内遊び)

毎週火曜日 午前10時30分～12時(出前保育)

毎週火曜日 午後2時30分～3時30分(ひよこルーム)

ひらい人権文化センター本館2階 会議室1

◎ひらいげんきっこ(リズム遊びなど親子で体を動かして遊びます)

月1～2回 午前10時10分～11時00分

ひらい人権文化センター別館3階 会議室2



使用料の改定について(お知らせ)

宝塚市では受益者負担の適正化を図るため、公共施設の使用料等を改定します。

人権文化センターについても令和8年(2026年)10月1日以降のご利用から新料金が適用されます。

新料金についてはホームページ、センター内の掲示等でお知らせしています。何卒ご理解賜りますようお願いいたします。



*どれも申込不要です。当日、直接お越しください。

*詳しくは平井保育所のホームページの子育て支援をご確認ください。